

パラパックプラス 300 人工呼吸器 取扱早見表

※本早見表は補足資料です。必ず添付文書、取扱説明書、簡易取扱説明書を使用前にお読みください。

1 呼吸回路の圧モニタチューブを本体の圧モニタチューブ接続部に接続します。

2 呼吸回路を本体の患者換気送気口に接続します。

3 駆動ガスホースを本体の駆動ガス接続部に接続します。

4 酸素(ボンベ、配管)に接続し駆動ガス圧インジケータの表示部が赤から白に変わったことを確認します。



5 酸素濃度を100%にします。



6 リリーフ圧(高圧アラーム)を設定します。

7 患者の気道が確保されていることを確認してから、適切なマスク又は気管チューブを装着し、呼吸回路に接続します。

8 手動(VENT)ボタンを押して換気状態(胸の上がり)を確認します。

9 呼吸回数と一回換気量を設定し、メインスイッチを「I 換気 CMV」にします。

< CPR >
呼吸回数を 10 (赤色のハートマーク) に設定し一回換気量の外側の赤色の目盛りで胸の上がりを確認しながら設定します。※1

< 人工呼吸の場合 >
患者の状態の必要に応じて換気パラメータの設定を調整します。

10 使用後はガス供給源から駆動ガスホースのコネクタを外します。

パラパックプラス 300 人工呼吸器 アラーム早見表

※本早見表は補足資料です。必ず添付文書、取扱説明書、簡易取扱説明書を使用前にお読みください。

高圧アラーム

リリース圧コントロールが設定値以上の時、赤色LEDが点滅し、電子音アラーム、ホイッスルが鳴動します。

CMV インジケータ

気道内圧がサイクル検出レベル 10cmH₂O (10×100Pa) を超えるたびに0.1秒間、緑色に点滅します。これは、正常に動作していることを示しています。

低圧アラーム

低回路内圧（気道内圧が 10cmH₂O (10×100Pa) 以下）や回路外れ時に黄色LEDが点滅し、電子音アラームが鳴ります。

気道内圧計

電子アラーム 消音ボタン

一回押すと電子アラームが60秒間消音します。

電池電圧低下アラーム

電池電圧が低下してくると、黄色LEDが点滅します。

自発呼吸検知インジケータ

自発呼吸が検知されると、緑色LEDが点滅します。

消音インジケータ

電子アラームを消音すると、3秒ごとにオレンジ色LEDが点滅します。

- 救急車での使用方法を記載しています。
- 警告、注意、および指示に従わない場合、患者が死亡もしくは重症を負う恐れがあります。

- 本装置を使用する場合は絶対に患者を一人にしないこと。
- 適応：成人 / 小児 / 幼児 (10kg 以上)

改良のため仕様は予告なく変更させていただく場合がありますのでご了承ください。ご使用前に、添付文書、取扱説明書など、製品付随資料を必ずお読みください。

製造販売業者
スミスメディカル・ジャパン株式会社
 〒107-0052 東京都港区赤坂 7-1-1
 お問い合わせ先：0120-582-855 受注センター

MLUTCA-1021